



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.177

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2022.12

石井病院 ～ トライやるウィークに参加協力しました ～

トライやるウィークとは、兵庫県下の中学2年生が地域の事業所などで働くことを経験し「働くことの意義」や「楽しさ、厳しさ」を学ぶ貴重な体験の場です。当院では、11月7日～9日の3日間 神戸市立平野中学校の生徒さん2名を受け入れ「トライやるウィーク」に参加協力しました。



(記念撮影：3階病棟にて)

★ 参加された生徒さんの感想をご紹介します ★

自分はいつも患者側として病院に行かせてもらっているのですが、自分の診察記録や点滴が安全に行われたり保存されたりしているのは、病院の方が丁寧に注意をして扱ってくださっているのだなと改めて思いました。病院は当たり前ですが個人情報を簡単に人には言えません。そして、関係者以外記録にふれる事もいけません。ですが、病院では記録を診察室に「届ける」役割もさせていただきました。この経験は大事だと思いました。そして、デイケアセンターでは仲良く話させてもらいました。初めて行った時は笑顔でむかえてくださってとても安心しました。1日目の帰る時、皆さんが手をふってくださってうれしかったです。そして、私は色々な事を学び、特に「思いやり」が大事だと思いました。未来の自分に絶対必要な思いやりを活かして生活していきたいです。(A.S さん)



(医事課業務体験)

私がいつも通っている病院とは違って大きい病院なので、見たことのない大きい機械があったり、たくさんの診察室などがあったりして普段の生活では見ないものを見てワクワクしました。また、透析を初めて見て、その人の都合によって昼に受けたり夜に受けたり、夜に寝ている間にできるものなどがあって、生活リズムを乱さずに治療ができるので、すごいと思いました。デイケアサービスというのも初めて聞いて何をやるのかと思ったら、お話をしたり季節に合った飾りを作ったりしてとても楽しかったです。3日間ありがとうございました。(H.K さん)



(デイケアセンターにて)

石井病院 ～ 2022年度「防災訓練」を実施しました ～

2022年度「防災訓練」を11月12日(土)14時より、石井院長を始め各部署職員の参加を得て実施しました。

今回の訓練目標は、昨年と同じく「災害発生時、災害対策本部を立ち上げ、報告、指揮命令の体制を迅速に確立する」という初動に焦点を絞ったものです。災害設定は平日 午前11時、通常業務中に明石市において震度7の非常に強い揺れ(3分程度続く)、津波の到達なし、電気、水道、ガス停止、電子カルテシステム停止(予備電源に切り替え)という仮定で行い、実際に院内全館停電の点検も同時に行いました。

昨年の反省を踏まえて訓練を行いました。放送機器のトラブルなど思いがけない事態も発生し、災害時に起こりえる様々な問題点が改めて浮き彫りになりました。

今後も訓練を継続しながら、全職員が防災意識を高め、一人ひとりがそれぞれの役割を理解し、予防対策や有事の際には連携して迅速に行動できるようよろしくお願いいたします。



事務長代行 兼
診療支援陪障
防災管理委員会
リーダー

二ノ倉 秀樹



画像説明：① 地震発生放送 ② 安否確認 ③ 対策本部設営 ④ 初動報告 ⑤ 災害対応放送 ⑥ 緊急指示 ⑦ 最終確認



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

～ 災害時訓練について ～

当院では、11月24日透析終了後の時間を利用して、消防訓練を実施しました。消防訓練時に合わせて、地震等の災害時訓練を組み合わせながら実行しています。今回は、地震が発生し、火災が誘発されたとして、院内のスタッフが協力し、消防への緊急通報、患者避難と火災への対応・患者の処置を実行しました。その後、消火器の使い方や、院内の放水設備の使用方法等も合わせて確認し、いざという時に実行できるように準備を行いました。設備の中でも、使い方がわからないでは、宝の持ち腐れになるため、全スタッフに理解できるよう定期的な実技とマニュアルを作成しております。

災害時には、誰もが慌ててしまう状況下で対応を考え、実行に移せるかが重要であるため、スタッフ一人ひとりに担当業務を毎日振り分けております。係のタグの裏には、何を行うかを優先順位事に記載しており、自分の係が何であり、何をすることを一目でわかるよう常に身に付けております。例えば、初期消火係には、どこに消火器が何本あるのかを把握し、状況に応じて火災現場近くへ運搬しなければならないため、いち早く準備できるようにしております。

患者様にも災害に対する意識向上のため、4月と10月に災害時カードを全患者様に配布しております。災害時カードには、災害により当院が透析を行う機能を一時的に失ってしまった場合でも、他の透析ができる施設で、患者様がある程度同様の透析できるような、情報が入っております。当院の患者様には全員お渡ししておりますので、大切に保管していただき、いざという時に使えるよう、財布や、保健証等と一緒に保管していただくと助かります。

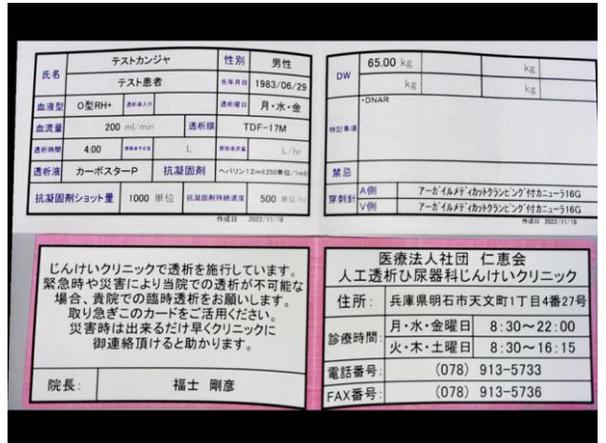
当院では、患者様に安全・安心で信頼される医療を提供できるよう、常に患者様の事を考えながら、やるべき事をやり続けています。これからも、患者様へ必要な情報を適切に提供していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



仁恵会本部事務局長代行
兼 人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務局長代行
原 真一郎



(各スタッフの担当業務を示すタグ)



(患者様用災害時カード見本)



消火訓練、患者様の安全確保、消防設備の確認・点検、応急処置など、災害発生時には、全職員が連携し迅速に対応できるよう定期的に訓練を行っています。



■ 医療連携相談室

平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>